

番組ID	タイトル	放送局・分数・放送日	ジャンル	内容
012447	私たちの周辺 春を待つ奥信濃	信越放送 13分 1964/3/2	ドキュメンタリー	日本屈指の豪雪地帯の春を待つ表情を紹介する。◆除雪機関車が走ってゆく。人力で雪かきをする人々。千曲川の今はなき渡し舟や、カンジキをはいて雪山に登る人、紙すき作業や縄づくりに使われる足踏み式の道具を操作する人の姿など、豪雪地で生活を営み、春を待ち焦がれる人々を追う。
012448	私たちの周辺 雪の中の牧場	信越放送 13分 1964/3/3	ドキュメンタリー	美ヶ原の山深く、扉峠に雪の中の牧場とよばれる小さな牧場がある。知的障害児とともに大きな理想を求めるこの牧場を訪ねる。◆放牧されている牛や馬、山羊。この牧場では越冬放牧が行われている。牧場に暮らす3人の少年は男性と協力して、牛にやる草を雪の下から掘りおこす。冬の時期でも生えている笹を食べる牛。薪を割り、食事を作り、協力して生活を営んでいる牧場の人たちの姿を紹介する。
010092	日本の詩情 雪の中に生きる 山古志(新潟)	テレビ朝日 13分 1966/3/13	ドキュメンタリー	1965～6年当時の日本各地の習俗、行事、生活、技術などを記録したドキュメンタリー。◆新潟県でも指折りの豪雪地帯、古志郡山古志村。もとは二十村郷と呼ばれていたほど、多くの集落が谷や沢に点在している。この村は古いウムギ(糸くり)技術を残すとともに、新しい産業である色鯉の創出・生産にも力を入れている。新しいものと古いものが混在した姿を描く。
003028	雪国売ります 安塚町の東京雪まつり	新潟放送 47分 1987/2/17	ドキュメンタリー	新潟県の山間豪雪地の安塚町が取り組んだ大イベントの舞台裏を描き、過疎地の地域おこしのあり方を問う。安塚町は町起こしの起爆剤として東京の後樂園球場に大量の雪を運び込み、ジャンプ台やカマクラをつくって都会の人に雪を楽しんでもらおうというイベントを企画した。役場の総務課長を本部長とする実行委員会を中心に、町内の多くの人たちが何らかの形でこの企画に参加し、イベントは見事に成功した。
002239	極める・匠と至芸の世界 雪中に織る (越後上布・小千谷縮技術保存協会)	テレビ東京 25分 1987/4/10	教育・教養	「雪中に糸となし、雪中に織り、雪水に濯ぎ、雪上に晒す。雪ありて、縮あり」と名著「北越雪譜」に記されている小千谷縮。◆原料の麻が雪国の気候風土に最適な素材であることから、生活の糧として越後の人々によって長く伝承されてきた。木綿の出現以来、麻は急速に役割を終えたが、ここでは細々ながら女たちの手によって昔の姿が受け継がれてきた。
008677	日本染織紀行・風に織り光に染める 越後上布・荒川セツ子 雪国の心を伝えて・新潟	NHK 46分 1994/2/17	教育・教養	新潟県塩沢町に伝わる越後上布。雪国で生まれ育った上質の麻織物作りは千年以上の伝統を持つが、50前後の作業工程のほとんどが江戸時代から変わらぬ緻密な手作業である。越後上布作りの第一人者、荒川セツ子さんはこの道50年。母親に習った機織の技術に磨きをかけて新しい柄に挑む一方、町の技術保存協会で後進の育成に励む。冬の訪れとともに始まる荒川さんの越後上布への地道な取り組みを、雪景色を背景に紹介する。
008678	日本染織紀行・風に織り光に染める 津軽こぎん 北の女たちの雪模様	NHK 46分 1995/1/30	教育・教養	江戸時代、津軽の農民は麻の着物しか許されなかった。少しでも布を強くし暖かく着るために、津軽の女性の知恵と工夫が生み出したのが、津軽こぎん。麻布を刺す技術と装飾模様によって、野良着から晴れ着にまで使われる地域独特の織物として発展した。木綿や緋の流入による衰退の時期を経て、その価値を再評価したのは昭和初期の民芸復興運動、特に弘前市の陶芸家、高橋一智氏の果たした役割は大きい。

番組ID	タイトル	放送局・分数・放送日	ジャンル	内容
014737	山形発！旅の見聞録 雪を眺むる尾花沢 おしんの旅	山形放送 15分 1995/4/1	ドキュメンタリー	レポーターをつとめる小林綾子の出世作「おしん」の舞台ともなった尾花沢市の銀山温泉を訪ねる。川を挟んで木造3階、4階の建物が軒を連ねる、大正ロマン漂う温泉街。ドラマで使われたこけしを作っている工房には、まだそのこけしを求める客が来るという。
006587	ふるさとの伝承 雪の中に歓びあり 新潟県・二十村郷の越冬	NHK 40分 1996/1/12	教育・教養	新潟県中部の山古志村を中心とした地方は、山々の間に二十以上の集落が散在しているところから二十村郷と呼ばれている。雪国特有の風習を記録する。11月から2月まで冬の四カ月の記録は、雪囲いから始まる。豪雪地帯のここでは、雪おろしではなく「雪掘り」となり、雪に埋もれた墓の上に雪墓を作り、十二山の神の十二講は雪の上にはほころを作ってお参りをする。雪の中で暮らす人々は知恵で冬を遅く生きるのである。
005779	ふるさとの伝承 桐の里は雪の中 福島県三島町	NHK 41分 1996/4/21	教育・教養	奥会津の三島町は桐の産地である。晩秋から早春にかけていろいろな伝統行事が続くが、そのいずれもが生活に結び付いている。◆会津桐で有名な福島県三島町は桐の仕事が終わると冬に入る。人々は雪の暮らしの中で先祖を思い敬い、一家の無事を祈り、次に来る年の実りの多いことを願う。子供たちも自分たちの役割を行事の中で果たすことで村の一員として育っていく。皆の気持が1つになって村の暮らしが今日も続いていく。◆三島の若水汲み〔福島県〕、若木迎え、サイの神祭り、初愛宕、ひな流し
016175	Let'sドン・キホーテ 雪の国道158号 安房峠を歩いて越える ～岐阜県上宝村～	名古屋テレビ放送 25分 1998/1/7	ドキュメンタリー	自然を舞台に外遊びの楽しみ方を紹介する「アウトドアTVマガジン」。◆厳しい冬の峠を歩いて越えることで、奥飛騨の歴史を体験する。◆里の歴史資料館には、この地方の教育に情熱を燃やした篠原無然先生の資料がある。『田舎は神の贈り物、都会は人の寄せ細工』とこの里を愛し、山里で生きる誇りを教えた。◆雪の穂高の美しい風景や樹氷に見とれながら行軍。雪の厳しさも体験しようと、信州側の道ばたで雪中キャンプも体験する。
011086	ドキュメントにっぽん 雪華の謎を追う ～大雪山・雪物語～	NHK 50分 1998/4/3	ドキュメンタリー	雪の結晶「雪華」の謎を追う研究者たちを描くドキュメンタリー。◆マイナス20度近くまで冷え込む2月の大雪山系は、日本で最も純粋な雪の結晶「雪華」が観測できる。この雪華に秘められた謎を追い求め、男たちが山ごもりをする。北海道大学の古川義純教授(放送当時47歳)もその一人。厳冬の大雪山にカメラを据え、雪華の謎が少しずつ解明されていく瞬間と、「科学者の目」を受け継いでいこうとする研究者たちの姿を見つめる。
010651	新発見！北方見聞録〔1〕 21世紀のマルコ・ポーロよ！	北海道放送 45分 2000/10/12	ドキュメンタリー	北方圏の国々を訪ね、寒冷多雪地域に生きる知恵や楽しさ、北に生きる素晴らしさを伝えるシリーズ。◆第1回は北の国々の驚きと感動を伝える。アイスランドではコロンブスよりも早くアメリカ大陸を発見した男の存在を知る。スウェーデンには、パソコンの発する熱と働く人の体温だけで暖房の熱源をまかなっている研究所がある。発明と可能性に満ちた鮮やかな発想の数々を紹介する。また、氷で作られたホテルなど寒さを逆手に取ったユニークな冬の遊びや、夜空を踊るオーロラ、白夜の夏にヨーロッパ最北の岬で見られる「沈まない太陽」など美しい神秘的な映像を伝える。

番組ID	タイトル	放送局・分数・放送日	ジャンル	内容
010652	新発見！北方見聞録[2] 世界一のマチ作り	北海道放送 45分 2000/10/19	ドキュメンタリー	寒い冬を快適に過ごすために、北欧や北米では様々な工夫を施した建物が見られる。また、そんな環境ならではの文化も発達し、人々の憩いとなっている。スウェーデンのストックホルムの地下鉄は、岩が剥き出しの「洞窟ステーション」。ホームは様々なアートで彩られ、地下に美術館を持ち込んだよう。アメリカのミネアポリスでビルとビルを結ぶガラスの空中道路「スカイウエー」は1日2万3千人が通行し、吹雪の日でも屋外に出ることなく図書館やオーケストラホールに移動できる。またカナダのモントリオールでは地面の下のもうひとつの町・巨大な地下街に1600軒もの商店が建ち並ぶ。
010653	新発見！北方見聞録[3] 最北端のミラクル・ビジネス	北海道放送 45分 2000/10/26	ドキュメンタリー	北のユニークで時代の最先端をいくビジネスをレポートする。北極圏にあるサンタクロースのテーマパークは子供たちの笑い声が響くが、この施設は核シェルターとして作られたものだった。花の生産国、オランダの農業はハイテクを駆使し、巨大な温室には人がほとんどいない。携帯電話のノキアの本拠地・フィンランドのオウルでは、企業と大学が一体となって研究を進めている。世界25カ国に輸出するフィンランドの子供用玩具会社のオーナーは、「市場は南にある！」と言う。また成人女性の9割が働くスウェーデンでは、家具メーカーの敏腕女性マネージャーを訪ねる。
010654	新発見！北方見聞録[4] 北からの風は暖かい！?	北海道放送 45分 2000/11/2	ドキュメンタリー	テーマはエネルギーと環境。北欧では自然エネルギーへの取組みがさかんだ。アイスランド国民は真冬でも水泳を楽しめる。火山帯の熱で温められた熱湯をプールに利用したり、地熱発電を行っているのだ。また間欠泉が首都レイキャビックの全ての家庭の暖房をまかなう温水供給基地になっている。デンマークはエネルギー自給率100%。主軸は火力発電だが、風力発電のシェアが10%を超えた。ここで「風の又三郎」と呼ばれている一人の日本人男性が、「風のがっこう」と呼ばれる風力発電の研修所を開いている。またスウェーデンのゴミ芸術家や「究極のエコ施設」も紹介する。
010655	新発見！北方見聞録[5] 赤い橋の家族	北海道放送 45分 2000/11/9	ドキュメンタリー	スウェーデンの北極圏の村、ポリュスは人口わずか470人。過疎と高齢化が年々進行している。村でただ一軒の雑貨店に赤い「スパルカ」が止まっていた。スパルカは北スウェーデンで暮らす人たちが移動用に使うそり。持主は69歳の女性、ヴェラさんだった。リポーターの市毛良枝はヴェラさんにスパルカの乗り方を教わり、親しくなっていく。ヴェラさんは一人暮らしだが、同じ村に息子と娘、6人の孫がいる。発電所で働く息子夫婦、音楽家を目指す孫。過疎の村で明るく生きる北の家族を紹介する。
010656	新発見！北方見聞録[6] 雪は天からの贈り物 ～雪国に暮らして良かった～	北海道放送 45分 2000/11/16	ドキュメンタリー	今回は日本発で、雪を新しいエネルギーとして利用する発想と仕組みを紹介する。やっかいなものだった雪を、太陽熱、風力につく第三の自然エネルギーとして見直し、雪の冷熱を様々な分野に活用する技術が北海道や東北で生まれている。特に、雪を利用した冷房システムは、個人住宅からマンション、公共施設、農産物貯蔵施設にいたるまで急速に広まっている。雪の原価はゼロ。ランニングコストが電気冷房に比べると半額から10分の1に節減できる。これまでの研究や実験を通して、雪を夏まで保存することは意外に簡単であることが判ってきた。

番組ID	タイトル	放送局・分数・放送日	ジャンル	内容
010657	新発見！北方見聞録〔7〕 歌え！ウルスラ	北海道放送 45分 2000/11/23	ドキュメンタリー	ヨーロッパの音楽シーンで注目を集める女性シンガー、ウルスラ・ランスマン。彼女は北極圏の少数民族「サーメ」の出身である。サーメは北極圏に4000年前からトナカイと共に暮らし、現在は約7万人がフィンランドやスウェーデン、ノルウェーに暮らす。ウルスラの歌「ヨイク」はサーメがトナカイを集めたりなだめたりする時に口ずさんできた伝統音楽で、喉を使った不思議な発声で何かに語りかけるように歌う。しかしキリスト教会による自然信仰禁止や北欧各国政府による同化政策のため、長い間歌うことを禁じられていた。サーメは放送局や学校を作り、自分たちの社会を築き始めている。
010658	新発見！北方見聞録〔8〕 酷寒の遊び人	北海道放送 45分 2000/11/30	ドキュメンタリー	今回は冬の寒さを逆手にとった遊びや楽しみ方を紹介する。フィンランドのバルト海では、ドライスーツで氷点下の海に浮かぶ砕氷船クルーズが人気を集めている。1年の3分の2はオーロラが現れるアラスカのフェアバンクスでは、真冬でも天体ショーを求めて観光客が氷点下27度の中を待つ。スウェーデンのキルナで冬の間だけ営業する「アイスホテル」は、氷の部屋に、氷のベッド、氷のバーと、ほぼ全ての物が氷で出来ている芸術作品のようにロマンティックなホテルだが、宿泊するには相当の覚悟が必要だ。また日本一寒い町と言われる陸別町の「人間耐寒テスト」も紹介する。
010659	新発見！北方見聞録〔9〕 天との知恵くらべ 世界の雪かき最前線	北海道放送 45分 2000/12/7	ドキュメンタリー	雪かきなど、雪との闘いは北国の住人の永遠のテーマ。雪を捨てる、融かすなど、各国のアイデアを集めた。カナダのモントリオールでは、昔の石切場を利用して、除雪車が数十メートルの高さから雪を捨てている。アメリカのミネアポリスには、世界で一台しかないハイテクを駆使した除雪車がある。年間5メートルの雪が降る札幌では、札幌駅地下の巨大な融雪槽が活躍する。融雪槽を発明したのは小さな板金屋さんだった。「融雪槽1号機を見たい」というリポーターの近藤と市毛に、店の主人はスコップを差し出す。
010660	新発見！北方見聞録〔10〕 華麗！快適！おいしいデザイン	北海道放送 45分 2000/12/14	ドキュメンタリー	北の国々が生み出すファッション、食、住宅には寒い地域で賢く優雅に暮らす知恵とデザインがいっぱいだ。中がまるみえのガラスの家や、さびだらけの鉄の家。実はこの住宅街はデンマークの太陽熱や地熱の実験の場だった。スウェーデンには家そのものが人間のように呼吸するユニークな住宅がある。ほかに、日本でも人気の高いデンマーク家具、カナダの北国でしかとれない「アイスワイン」、アラスカのアンカレッジで地元グルメをうならせる日本人の料理人、あったかくておしゃれな北国ファッションを制作する札幌のファッション学院の生徒たちを紹介する。
010661	新発見！北方見聞録〔11・終〕 幸せのヒント 北国だから元気になれる	北海道放送 45分 2000/12/21	ドキュメンタリー	高齢化の問題に早くから取り組んできた福祉の先進国である北欧の国々を訪ねる。スウェーデンの過疎の町ではホームヘルパーが1日400キロも車を走らせる。福祉に地域格差があってはならないのだ。老人ホームに入所している痴呆のお年よりの表情はとても明るい。オランダのヒートホルン村は車を村内に入れず、交通手段は船と自転車。時が止まってしまったかのような美しい村で、定年退職者が余生を送る。また、北大教授の伊福部達さんは、声を失った人のための「人工の声帯」や、耳が遠いお年よりのための「音がゆっくり聞こえるラジオ」などの福祉機器を開発してきた。長寿時代を人間らしく生き、高齢者を支えるヒントを探る。

番組ID	タイトル	放送局・分数・放送日	ジャンル	内容
011332	守れ！冬ダイヤ 雪氷と闘うJRマン	秋田朝日放送 50分 2002/3/17	ドキュメンタリー	冬のダイヤを守る鉄道マン達の姿を追うドキュメンタリー。◆県境付近の積雪は2メートルを越え、鉄道の除雪作業は昼夜を問わず進められた。除雪車両は、小型のモーターカーロータリー、雪を跳ね飛ばして進むラッセル、特雪と呼ばれる大型ロータリー車の3種類。沿線の民家や施設などに注意しながら雪を除くオペレーターは職人の腕を持つ。白一色の中を掻き分けて進んでいく除雪車両の姿は迫力に溢れる。他に、秋田新幹線「こまち」の雪対策や、現場のアイデアによって誕生した解氷装置なども紹介する。
015063	おしえて！北のなるほ堂 追求！雪かき道	札幌テレビ放送 25分 2003/2/2	ドキュメンタリー	「なるほど」を合言葉に、北海道の様々な魅力を紹介するシリーズ。レポーターが道内各所に出向き、色々な雑学や情報を交えながら、土地の「人・モノ・自然・味覚」を伝える。◆冬の北海道に欠かせない雪かき。思わず驚く雪かきの達人が登場。雪かきを利用したシェイプアップ法から、地上90メートル、手に汗握る命がけの雪かきまで、雪かきの「なるほど！」取材する。
014466	テレメンタリー2004 湖畔の雪ん子 ～十和田小中学校の冬～	秋田朝日放送 25分 2004/5/11	ドキュメンタリー	豪雪地・十和田でスキーと向き合い、成長していく子どもたちの姿を追う。◆十和田湖の秋田県側、西側湖畔に建つ十和田小中学校は、秋田県内でももっとも小規模な学校。この冬在籍しているわずか9人の生徒は、連日クロスカントリースキーの練習に明け暮れている。目標は伝統行事「湖畔スキー大会」。小学校4年生の男児は、今回初めて5キロの「長距離」に挑戦。中学校3年の女子は最後の大会になる。
201613	ラララ白山 かつ先生のふしぎ教室[19] 冬のやっかい者が百面相！？	テレビ金沢 25分 2005/2/26	教育・教養	白山の大自然の魅力を、「かつ先生」こと尾張勝也さんが子どもたちと一緒に理科の視点から伝える。◆雪の結晶は、雲の中の水の粒(雲粒)が氷に変化して成長する。加賀市の「中谷宇吉郎 雪の科学館」を訪れた先生。氷の粒がだんだん大きくなっていく様子に驚く。◆厳冬期の白山は威厳がある。かつ先生のお目当ては百四丈滝。落差90mの滝は想像を超える姿になっていた。お椀につめた雪をひっくり返したような、まるで巨大プリン。水は風に揺れながら降り注ぎ、断崖には30mはあろうかという「つらら」が何本もぶら下がっていた。
202068	クローズアップ東北 出動 オヤジ除雪隊 ～青森市 ある町会の取り組み～	NHK 25分 2006/3/10	報道・時事	人口30万人級の都市としては世界で一番雪深いと言われる青森市。その中でも最も降る地区で「地域のことは地域で」と、「オヤジ」たちからなる除雪隊「スノーバスターズ」が結成された。出動しては道路や一人暮らしの高齢者の家の雪を片づけていく。雪と格闘して一緒に汗をかくことでつながった、人と人との交流を紹介する。
0016212	生きる×2 雪国は編物日和 ～芳子さんは編物教師	青森放送 25分 2006/5/14	ドキュメンタリー	1953年に教室を開いて以来50年以上にわたって編物教師を続けている82歳の藤田さんの人生を、戦後の日本の一側面と重ね合わせて描く。◆戦後から昭和40年代、女性たちはこぞって編み物を習った。妻が編んだものを夫が、母が編んだものを子どもが着る“家族”があたり前だった時代。古くなればほどいて新しい糸を足して編みなおす、ものを大切に作る時代だった。藤田さんは夫に支えられて編物教室を続けてきた。日本が豊かになり、生徒は減ってきたが、いま「ニットカフェ」という新たな追い風を受けて、藤田さんは生き生きと毛糸と向き合う。

放送ライブラリー公開番組＜「雪」関連テレビ番組＞

※8階視聴フロアで視聴できます

番組ID	タイトル	放送局・分数・放送日	ジャンル	内容
900324	21世紀に残したいみやぎの魅力100選 雪の松島	東日本放送 3分 2001/2/24	ドキュメンタリー	視聴者に公募した「心に残る風景」や「伝統の味や技」などを取り上げ、21世紀に残しておきたい「みやぎのとっておき」を紹介する。◆今回は、観光地としてはシーズンオフの、冬の松島を訪ねる。
900470	遊Your信濃 炎を映す雪 下高井・野沢温泉村	テレビ信州 2分 2001/1/7	ドキュメンタリー	全国的に知られた観光スポットだけでなく、日常生活の中にある信州の風土や文化を紹介する。◆今回は、野沢温泉スキー場の火まつりを紹介する。
900471	遊Your信濃 雪の素描 白馬・八方尾根	テレビ信州 2分 2001/1/14	ドキュメンタリー	今回は、風が作り出す雪の造形、風紋を紹介する。
901718	時を超えて～フィロソフィア 昭和37年(1962)雪国の分校	中部日本放送 2分 2005/1/9	ドキュメンタリー	昭和30、40年代を中心に東海3県の懐かしい昭和の街並、光景を収録。
901770	時を超えて～フィロソフィア 昭和38年(1963)豪雪地帯	中部日本放送 2分 2006/1/15	ドキュメンタリー	昭和30、40年代を中心に東海3県の懐かしい昭和の街並、光景を収録。